

13

地震・台風・大雨のときの活動

火事のほかに、人の命やさいさんをうばう
おそろしい災害があります。

地震・台風・大雨からみんなを守るために、どのような人たちが協力しているのかな？



先生方へ

- ① 火事以外にもおそろしい災害があることや身を守る方法(危険な場所に近づかない・助けを呼ぶ等)を理解させてください。
- ② 地震や風水害が起きたときに、どのような人が活動しているのかに着目させて、被害を防ぐために様々な機関の協力が必要であることを理解させてください。
- ③ 市民防災会
市民防災会は、大規模な災害が発生した場合に備えて、市民が地域ぐるみで協力し、災害に立ち向かうための自主防災組織です。阪神・淡路大震災では、被害にあった多くの人が、公的機関ではなく、自力又は家族や隣人によって救出されており、地域住民の相互の助け合いが被害の軽減につながることがわかりました。本市では、平成9年に市民防災会を結成しました。市民防災会の取り組みについては、P26で詳しく説明しています。
- ④ 市民防災会は、自治会を母体とした組織であることを理解させてください。
※ NPOとは、政府や企業に属さない団体で、さまざまな社会的活動を非営利に行います。

地震・台風・大雨のときに気をつけること

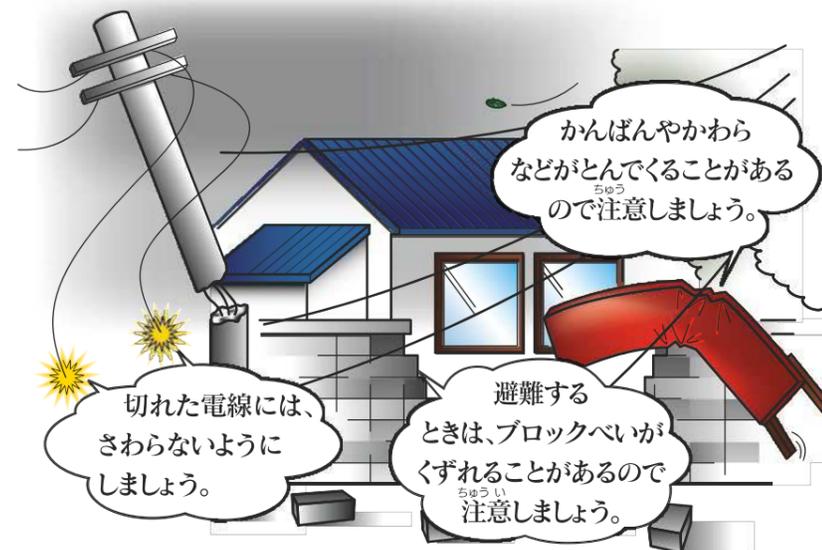
災害時に重要なことは、早めに避難することです。事前に避難場所などの安全な場所をたしかめておきましょう！また、避難するときは、「**進んで逃げる**」「**今できることをする**」ことが大切です。



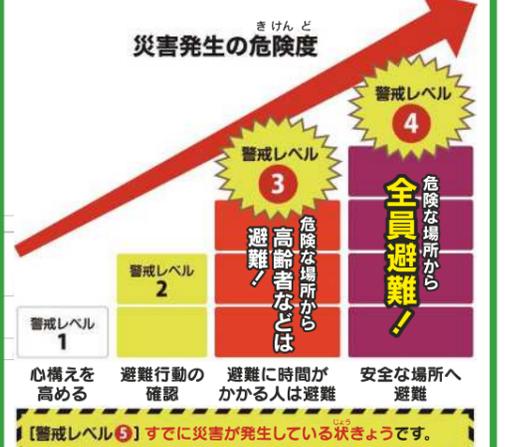
もしも逃げ遅れた時は、自分の家の高いところや近くにある少しでも高い建物に避難するなど、**その場そのときで命を守る行動をとりましょう。**



水かさが増えたみぞなどには**絶対に近よらない**ようにしましょう。



台風・大雨などのとき、警戒レベル1から5を使った避難についての情報がテレビやラジオ、メール、ホームページなどで発表されます。



14

地域の防災活動

火事や地震・台風・大雨などから、くらしを守るために、地域ではどのような取り組みをしているのかな？

防災訓練

市民防災会の方々が中心となって、地域での防災活動に取り組んでいます。災害図上訓練や倒壊家屋からの救出訓練、バケツリレーなど、非常時に役立つ訓練を地域で行っています。



地域の地図を使い、危険な場所などを地図に書き込んでいく訓練です。



建物の下じきになった人などを助け出す訓練です。



水の入ったバケツを順番におくって火を消す訓練です。

地域の方々、学校、消防署や区役所が協力して、高潮や地震などが起きたときのための防災訓練に取り組んでいる例もあります。



高潮や津波が起きた時のことを考えて、高い所に避難する訓練です。



地震などの自然災害が起きた時、学校の体育館が避難所になった場合を考えた訓練です。



地震体験車により、地震の揺れの怖さを体験して、地震に備える大切さを学ぶ訓練です。

先生方へ

- ① 高潮とは、台風や発達した低気圧が原因となって発生し、強い風による吹き寄せ効果や気圧の差によって生じる吸い上げ効果によって海面が上昇する現象です。
- ② 津波とは、主に地震が原因となって発生し、海底の地形の変動によって生じる大規模な波の伝播現象です。

予定避難所

地震・台風・大雨などの災害が起きたとき、みなさんが安全に避難できるように、災害の種類に応じて予定避難所が設置されています。みなさんの住んでいるまちでは、どんなところに予定避難所があるか調べてみましょう。



▲ 災害が起きたときには、学校の体育館や運動場などを避難場所として使うこともあります。

予定避難所表示板

予定避難所
Emergency Shelter

この地域の高さは 海拔 ○ m

◎ 学校の表示板を調べてみよう。

しせつ名	予定避難所の数
小学校	128
中学校	62
市民センター	134
公民館	63
その他	111
計	498

▲ しせつごとの予定避難所の数(令和6年1月1日現在)

家族の人と話し合っ、災害が起きた時の「避難場所」や「連絡方法」を書き入れ、持っておきましょう。

非常時に持ち出す品物をそろえておきましょう。

- 貴重品
家や車のカギ・保険証・お金
- 情報グッズ
スマートフォン・携帯電話のじゅう電器や予備バッテリー・けい帯ラジオ・筆記用具
- 救急用品・衛生用品
ばんそうこう・薬・お薬手帳・マスク・簡易トイレ・ウェットティッシュ
- 避難グッズ
かいちゅう電灯・ヘルメットや防災ずきん
- 飲料水・非常食
食べ物や水を3日分(できれば1週間分) 日頃から消費期限も確かめよう。
- 生活用品
手ぶくろ・大きなハンカチ・タオル・かん切り・ナイフ・ライター・ビニールシートやポリぶくろ・雨具や使い捨てカイロ

▲ 避難所へ移動するときのために、非常時に持ち出す品物をそろえておきましょう。また、家のどこに置いてあるか、確かめましょう

災害時連絡カード

避難場所

学校・園
学校・園にいる時

住所
家にいる時

名前
()にいる時

血液 性別
()にいる時

連絡先(TEL)

避難三原則

1. 全力で逃げよう
2. 最善を尽くそう
3. 自分を信じてすすんで避難しよう

北九州市教育委員会

緊急時の避難場所等を書く「災害時連絡カード」

先生方へ

- ① 地域の学校や市民センター・公民館などが避難場所になります。避難の仕方を見守るために話し合わせてください。
- ② 学校から配布される「災害時連絡カード」等を活用し、災害時の予定避難所、持っていくもの、安全な避難経路、連絡方法などを家族で話し合っておくよう指導してください。
- ③ 「施設ごとの予定避難所の数」の「その他」の中には、体育施設、地域交流センター、幼稚園、児童館、青少年施設、県立高校、私立高校、寺、大学、団地集会所などが含まれます。
- ④ 予定避難所に自主的に避難するときや、開設状況が不明の場合は、各区役所総務企画課に連絡してから避難してください。夜間休日は、各区の消防署に連絡してください。

15 まとめ

消防にたずさわる方々の努力について、まとめましょう。
また、災害から自分の命を守るために、みんなにもできることを考えましょう。

火事からみなさんの暮らしを守るため、防火指導や消火栓の点検、パトロールなどの仕事も行っていきます。わたしたちの最も大切な使命は火事などの災害を未然に防止することや、火事の現場で火を消すこと、にげおくれた人を助けることなどです。

そのため、暑い日や寒い日、また雨の日でも訓練を行っています。時にはつらく大変な時もありますが、わたしたちの仕事がみなさんの生活の安全や命を守っていることにほこりをもっています。

みなさんも、火事や地震などにそなえて、自分にできることはないか、考えてみてください。



消防士さんの話

わたしは、人の役に立つ仕事がしたいという思いで、命を守る消防の仕事を選びました。

今は、救急隊員として、けがをした人や急病人を救急車で運ぶ仕事をしています。病院に着くまでの間は、「助けたい!」という強い気持ちをもって、一生けん命手当てをします。元気になった人から「あの時はありがとう。」と言われると、本当にうれしくなります。

しかし、悲しい現場に立ち会うこともあり、命の大切さをいつも感じています。



救急隊員さんの話

大雨が降ったり台風が来たりすると、いろいろな場所ではけずれや、道路に水があふれるなどの災害が発生します。その時、わたしたちも消防や警察、市の人たちと協力しています。たとえば一人で避難できない人の手助けをしたり、けが人の手当をしたりします。そのために防災訓練や救急の講習会を区役所や消防署と協力して行っています。自分たちの地域は、自分たちで守ることが大切だと思います。



地域の人の話

みんなにもできることはないかな?

わたしたちのくらしの安全を守る消防の仕事



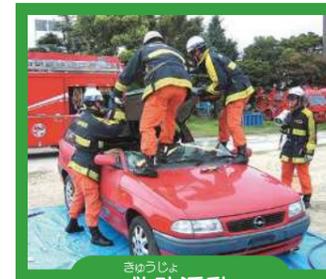
消火活動



指令



火災予防活動



救助活動



北九州市消防局



立入検査(査察)



救急活動



防災訓練



火災調査

自分のできることに○をつけましょう。

火の取りあつかいに注意する

ひなん所の場所をお家の人と話し合う

119番通ほうの仕方を
知る

消火器の使い方を
知る

火事の際のひなんの
仕方を
知る

大人がいないところで
火を使わない

ひなんくんれんに参加
する

地しん・台風・大雨の
ときに気を付ける
ことを
知る

27ページの『非常時に
持ち出す品物』を
そなえておく